

# 株式会社MARUWA

## 2023年3月期第3四半期決算説明会

---

2023年2月2日  
株式会社MARUWA（証券コード5344）

ご注意事項

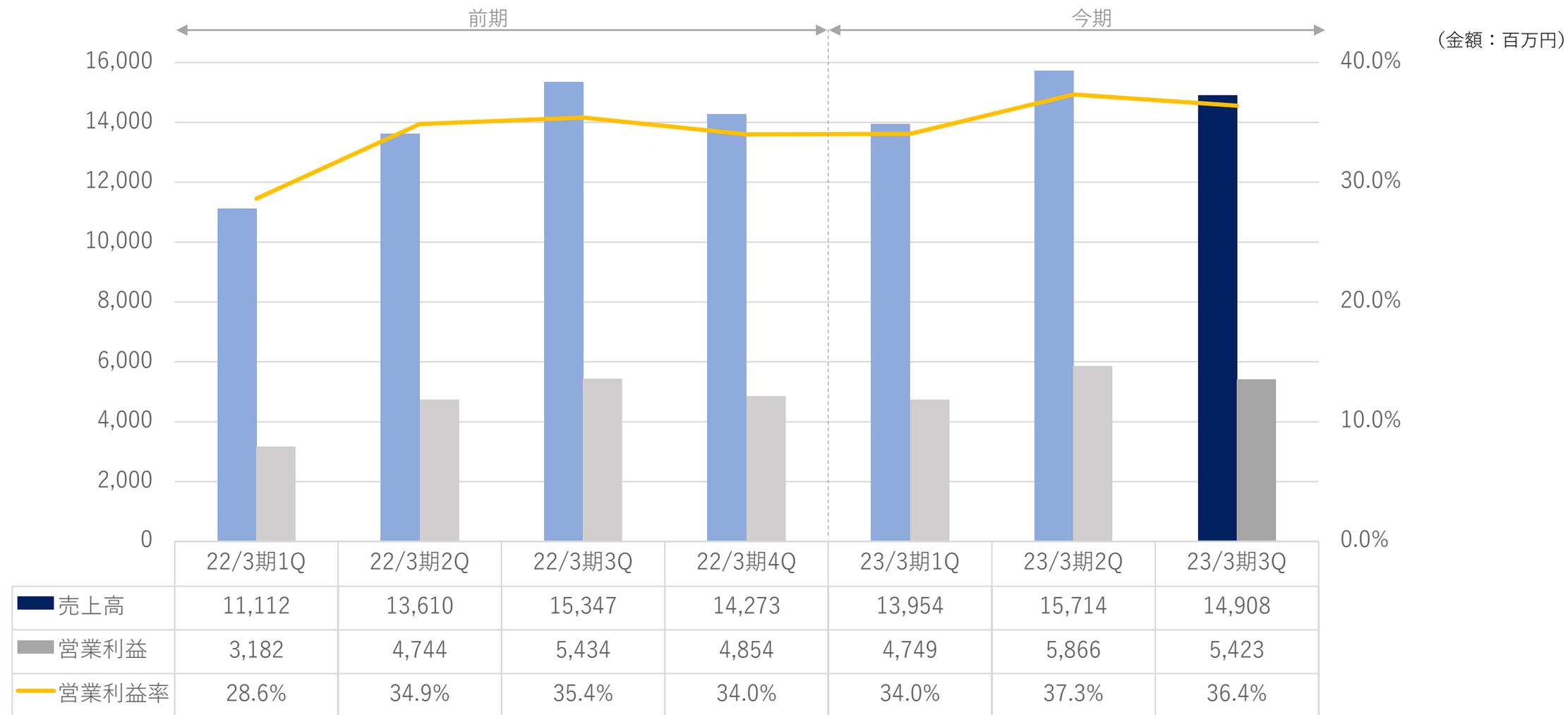
本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。  
将来の見込みに関する事項については、現時点で入手可能な情報に基づいており、  
将来の事象により変動する可能性があり、内容を保証するものではありません。

# 1. 第3四半期累計（連結） 決算概要

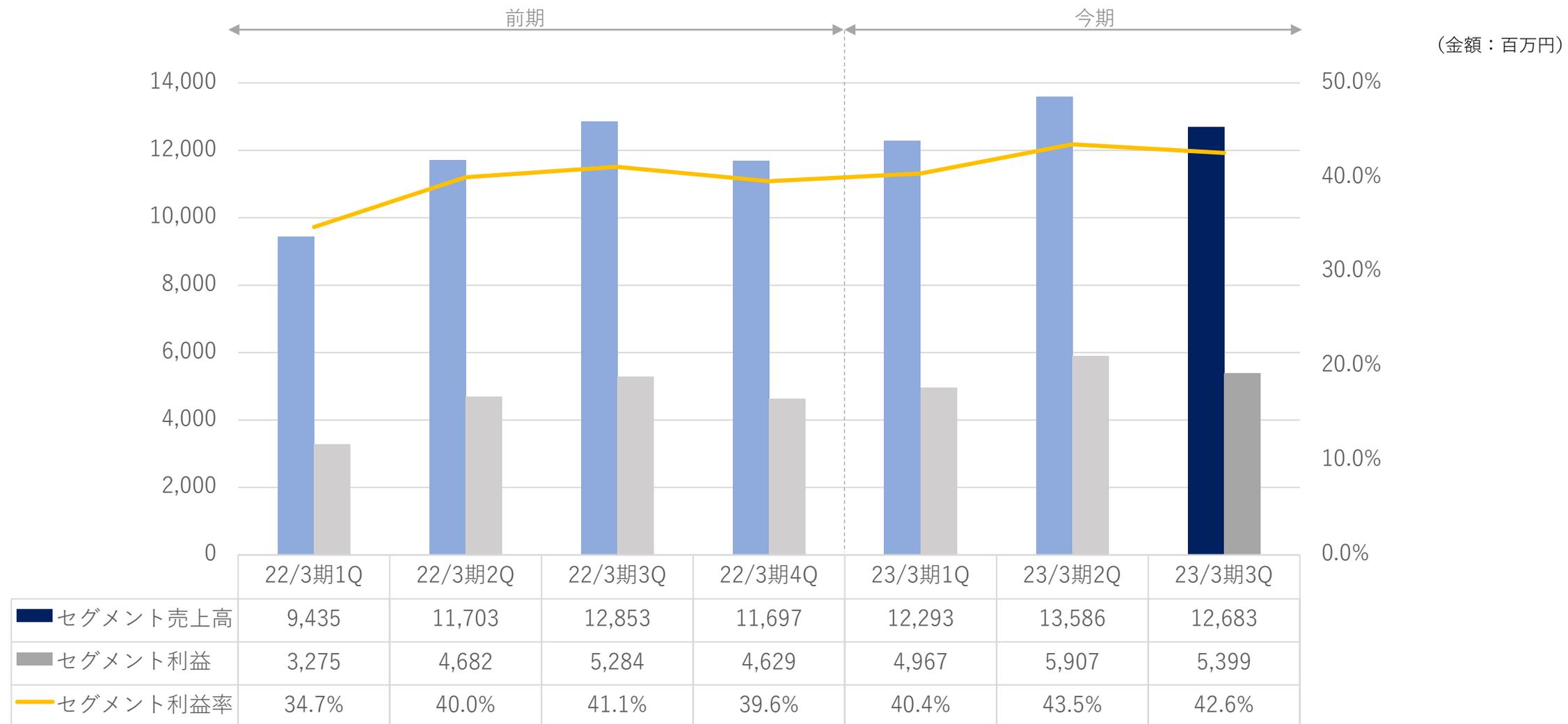
（金額：百万円）

	23年3月期 第3四半期累計	22年3月期 第3四半期累計	増減率
売上高	<b>44,577</b>	40,070	<b>+ 11.2%</b>
営業利益	<b>16,039</b>	13,361	<b>+ 20.0%</b>
経常利益	<b>16,982</b>	13,819	<b>+ 22.9%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>11,934</b>	9,511	<b>+ 25.5%</b>

## 2. 四半期業績（連結）



### 3. 四半期業績（セラミック部品事業）



## 4. 市場別売上高

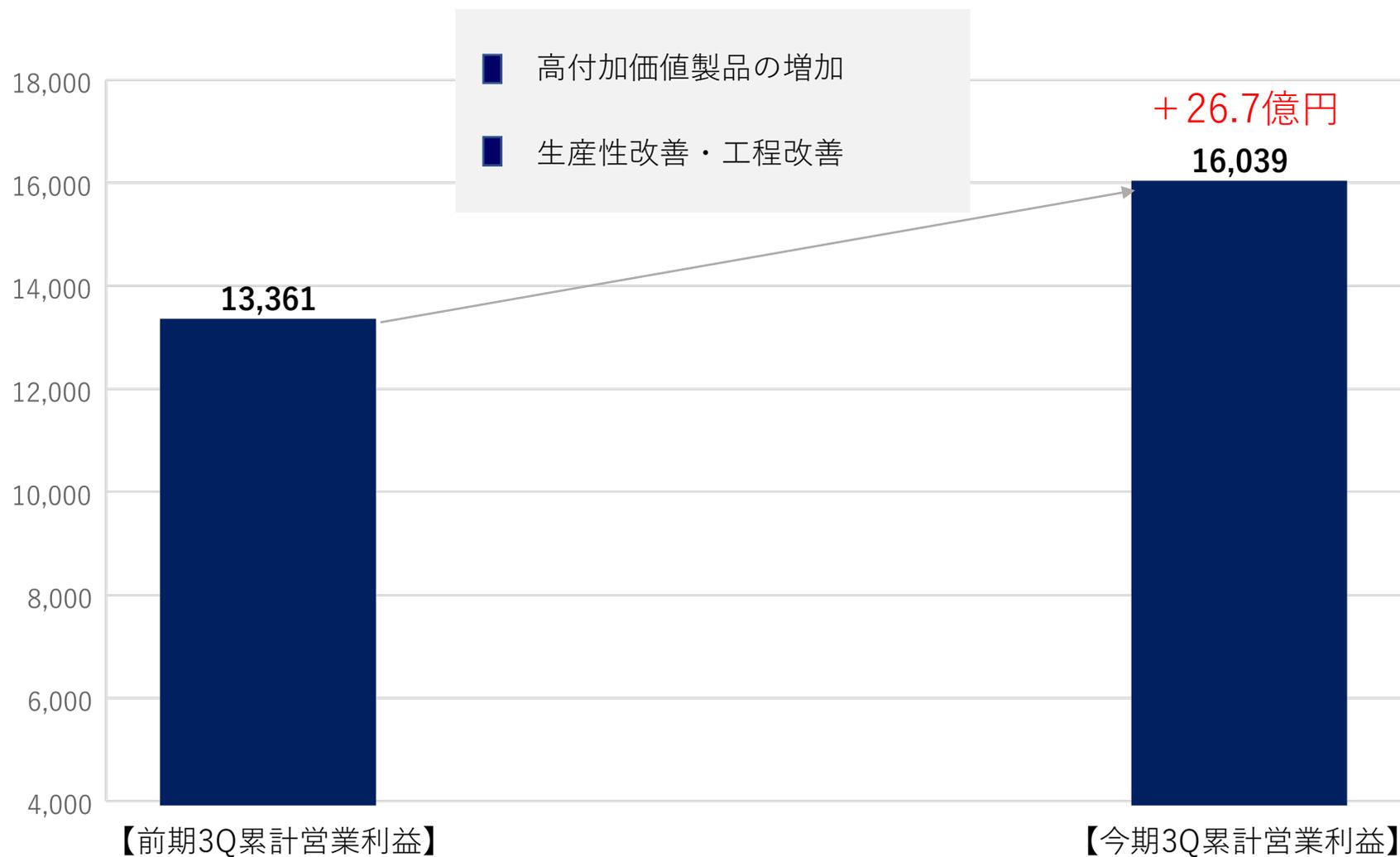
(金額：百万円)

	今期3Q累計		前期3Q累計
		対前期増減	
通信	16,900	△1.7%	17,184
車載	8,722	+28.0%	6,815
半導体	7,020	+36.0%	5,163
産業機器	5,920	+22.6%	4,829
照明	6,014	△1.0%	6,077

## 5. 足元の状況

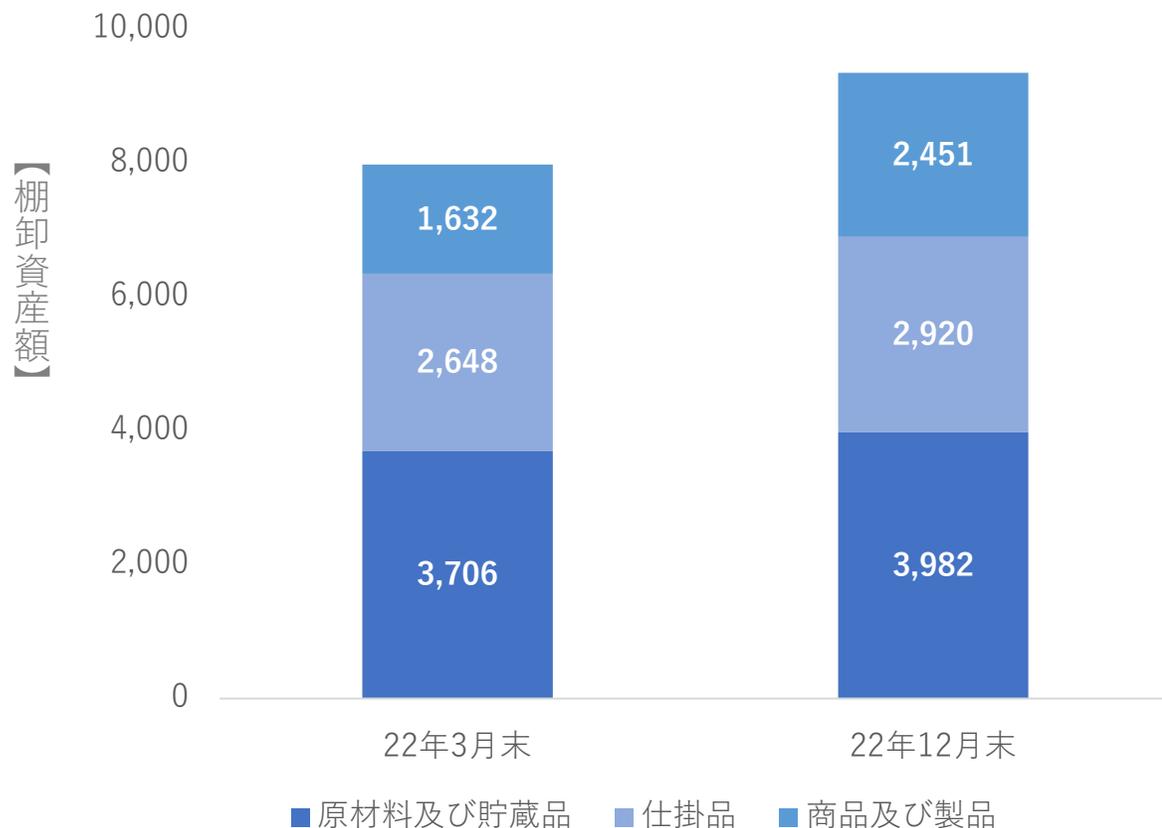
市場	状況
通信	ゼロコロナにより中国向けの受注減少も、先行きが明るい見通しが立ちつつある。
車載	EV向けは期を通じて受注好調で、見通しに不安要素はない。
半導体	メモリをはじめとして市況全体は悪化も、当社の受注の減少はいまだ見られない。

## 6. 営業利益分析



## 7. 棚卸資産推移

(金額：百万円)



■ 戦略的な原材料の確保は、引き続き実施中

■ 「商品及び製品」が増加しているが、前述のゼロコロナを背景とした中国向け製品の出荷延伸によるもの

## 8. 23/3期 通期業績見通し

(金額：百万円)

	2022/4/27時点 での見通し	最新の見通し		前期 実績
			対前期増減	
売上高	60,000	<b>59,100</b>	+ 8.8%	54,344
営業利益	18,500	<b>20,800</b>	+ 14.2%	18,215
経常利益 <sup>※</sup>	18,500	<b>21,000</b>	+ 9.5%	19,182
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,900	<b>14,700</b>	+ 10.1%	13,350

※経常利益以下は、為替差益を除いた営業外収益及び費用を見込み算出

## 9. 配当予想の修正

	第2四半期末	期末	合計
前回予想	38円	38円	76円
<b>今回修正予想</b>	—	<b>40円</b>	<b>78円</b>
当期実績	38円	—	—
前期実績	34円	36円	70円

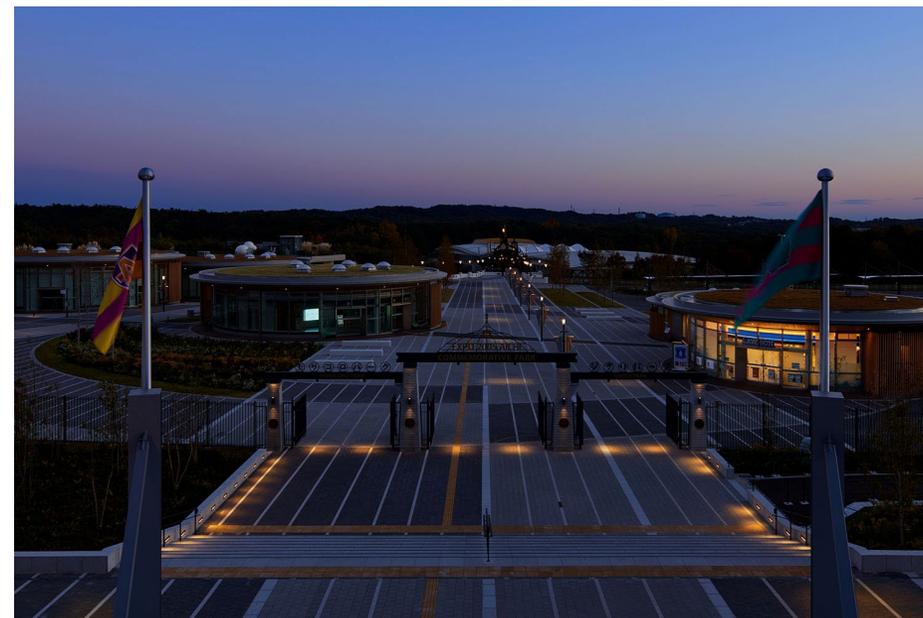
※本内容につきましては、1/31付「配当予想の修正に関するお知らせ」にて適時開示しております。

# YAMAGIWA事業 事例紹介



- YAMAGIWAは、2022年11月のジブリパークオープンにともない、愛・地球博記念公園の園路改修全10区の照明計画を担当

- 景観市場を重要な市場の一つと位置付けており、YAMAGIWAのデザイン力や技術力が凝縮された本事例を今後の拡販のためのPR事例として活用していく





YAMAGIWA TOKYO

YAMAGIWA OSAKA



YAMAGIWA NAGOYA



